

Weekly 原油情勢

改定幅予想(7/10～7/16)

+0.0～+1.0

7月1週(7/1～7/7)トピックス

原油は小幅続落。利益確定売りが入るなか、エネルギー需要が鈍化しているとの見方が弱気材料となった。事前予想に反して在庫が大きく積み上がったため、米国の需要の弱さが不安視された。

過去トピックス

6月2週▼

原油は小動き。米国のガソリン在庫が市場予想に反して増えたことや、サウジアラビアがアジアの顧客向けの7月原油販売価格を4年ぶりの低さに迫る水準まで引き下げたことが弱材料視。

6月3週▲

原油は急反発。イスラエルがイランの核関連施設を攻撃したことで、恐れていた中東情勢の緊迫化が現実化し、地政学リスクが台頭している。

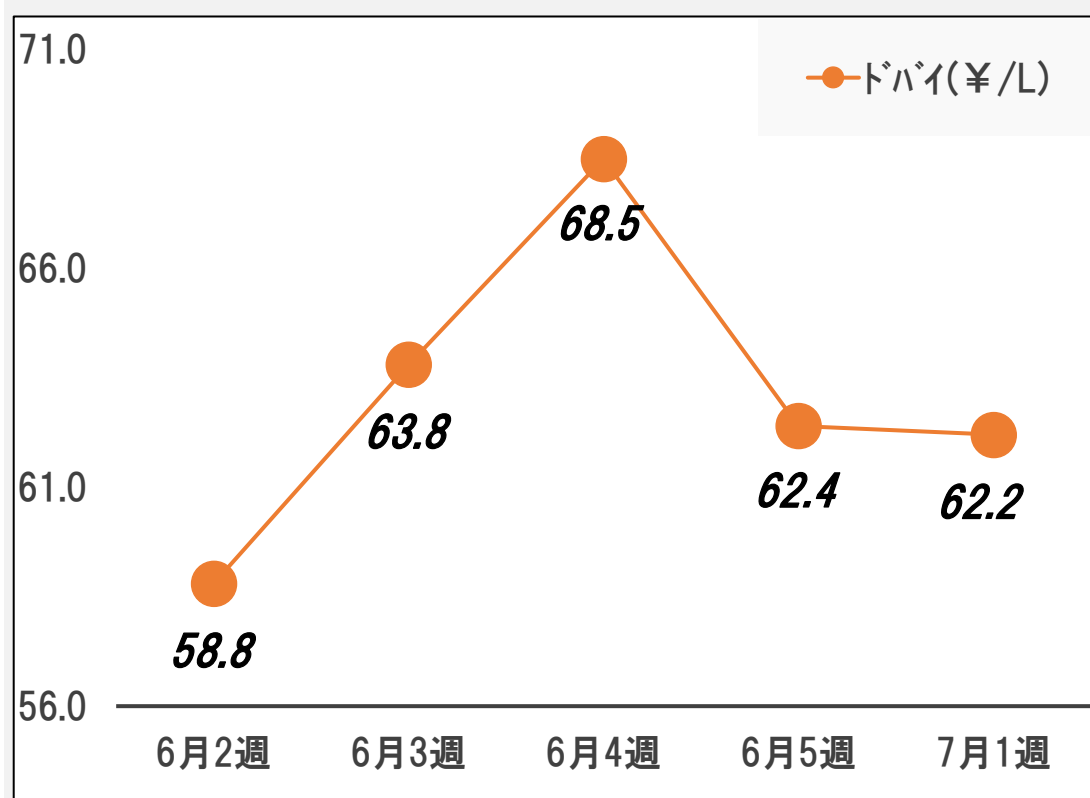
6月4週▲

原油は反発。中東の地政学的リスク高まる。

6月5週▼

原油は大幅続落。中東情勢の緊張が和らぎ、売りに拍車がかかっている。ホルムズ海峡の閉鎖を見送ったこともあって、中東の地政学リスクに対する懸念がやや緩和している。

価格推移表



週	期間	ドバイ (\$/バレル)	為替 (TTS)	ドバイ (¥/L)	増減幅
6月2週	6/3～ 6/9	64.7	144.6	58.8	0.0
6月3週	6/10～ 6/16	69.9	145.2	63.8	5.0
6月4週	6/17～ 6/23	74.6	146.1	68.5	4.7
6月5週	6/24～ 6/30	68.0	146.0	62.4	-6.0
7月1週	7/1～ 7/7	98.4	144.7	62.2	-0.2

「FUJISHO BLACK LABEL」ホームページはこちらよりアクセス

